



見沼伝説の里の**彼岸花**と**黄金の稲穂**ツアー

* 開催日時…令和元年9月23日(月祝) 9:30分集合

* 集合場所…浦和くらしの博物館民家園(緑区下山口新田 1179-1)

アクセス→バス：JR浦和駅東口からで約20分。バス停「念仏橋」下車すぐ
徒歩：JR武蔵野線東浦和駅約25分

* 参加費…300円

* コース…浦和くらしの博物館民家園→見沼たんぼ・芝川→國昌寺(開かずの門・左甚五郎の竜・釘付けの竜)→さいたま緑のトラスト保全第1号地→総持院(彼岸花・黄金の稲穂)→鷲神社(竜頭の舞伝説)→五斗時橋(大蛇伝説)→野田小バス停(解散) 約3.5キロ…12:30ごろ解散予定

彼岸花



黄金の稲穂



申込方法 kimiyo@kbd.biglobe.ne.jp

TEL048-886-6605 山鹿ガイドに参加者名・連絡先TEL・メール・住所をご連絡ください。

ホームページでも可

[http www.minuma-guide-club.com/](http://www.minuma-guide-club.com/)

彼岸花…単子葉類ヒガンバナ科ヒガンバナ属
多年草 花期は9月 名は彼岸の頃に花が咲くところから。花の時期には葉をつけない。葉は花の咲き終わった後につける。たくさんの地方名がある花でもある！たんぼの畔に多いのは有毒なのでネズミやモグラ除けともいわれている。★きつねのかんざし・ちんちんどうろう・おみこしさん・あかおに・おにゆり・かじばな・うちへもってくるとかじになる……

自然保護団体のボランティアがトラスト1号地の前にあるたんぼで「不耕起・冬水栽培法」で子ども達と米づくりをしている。水田を耕さず、冬も水田に水を張り、土壌生物の力を借りて土づくり・米づくりをする農法である。

どんな土壌生物がいるかも調査され、田植えや稲刈りのときは子どもの声が飛び交い賑やか、楽しさいっぱいである。



主催 見沼たんぼ地域ガイドクラブ